



855年12月4日  
蒲関を通過する  
(尚書省司門過所)

855年12月 洛陽に着き、  
弟子らの夢を見る。また、  
龍門に行き、白居易の墓を  
見る

855年5月15日  
潼関を通過する  
(越州都督府過所)

855年5月21日 洛陽を経て、長  
安城に到着する。6月、青龍寺に行き、  
以後、法全阿闍梨から密教の奥義を  
授法される。10月、龍興寺において、  
金剛・胎藏両部の大曼荼羅像を画工  
に写させる。11月27日 長安を発  
ち、帰途につく

855年4月 蘇州に至るが、  
病気にかかり徐直(徐公直)  
の家で療養する

854年9月20日 長安に  
向かうため、国清寺を発ち、  
越州の開元寺に着く

854年2月9日 天台山禪  
林寺に滞在し、天台山を巡  
礼する

853年12月13日 天台山  
国清寺に着く。翌日、留学  
僧円載と久しぶりに会う

853年11月26日 台州に  
入り、開元寺に宿泊し、知建  
から師僧の義真と同時に国清寺  
で受戒したことを聞く

853年10月 温州に至り、  
開元寺に数日間宿泊する

853年8月15日 福州連江  
県管内に着し、福州開元寺に  
1か月間宿泊する。9月、福  
州公験(通行許可書)を下  
付され、天台山・長安の旅  
に出る

856年4月 蘇州の徐直(徐  
公直)の家で、右大臣藤原良房  
らの夢を見る

856年6月 2年ぶりに天台  
山国清寺にもどる。858年5月、  
「入唐求法惣目録(国清寺外諸  
寺求法惣目録)」をまとめる

858年6月8日 台州管内の  
海門で李延孝の船に乗り、日本  
に向けて出航する。  
-帰国する船中で、老人の姿を  
した新羅明神が現れたという-

858年6月22日 5年ぶりに博多に  
帰着し、鴻臚館に入る。太宰府城山の  
四王院に逗留。10月、鴻臚館で「唐客」  
高奉らと漢詩の応酬を行う

858年6月19日 五島列島  
の美旻楽崎(三井楽)に至る

853年7月15日 太宰府から  
公験(入唐証明書)を得て、  
弟子・通訳・従者ら7名とと  
もに、博多より「大唐商人」  
王超・李延孝らの商船に乗り  
込み出航する

853年8月14日 琉球(台  
湾か)に漂着する



( )内は現在の都市名